
◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇

～メールマガジン第107号(令和6年1月25日発行)～

◇◇◇◇◇◇◇◆ INDEX ◆◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

トピックス

- 【開催終了】ほっかいどう防災ひろば in チ・カ・ホを開催しました！
- 【開催中】「巨大地震や津波災害から住民を守る」講師養成講座を開催しています！
- 【1/27開催】地震防災について学べるオンラインシンポジウムのご案内
- 【2/3開催】アルピニスト野口健「災害を生き抜くために」防災講演のご案内
- 【お知らせ】「ほっかいどうの防災教育協働ネットワークマガジン」は3月号で廃刊します。
- 各種メディア・SNSを用いた情報発信について

-
- 【開催終了】ほっかいどう防災ひろば in チ・カ・ホを開催しました！

ほっかいどう防災教育協働ネットワークでは、今年で10回目の開催となる「ほっかいどう防災ひろば in チ・カ・ホ」を、令和6年1月14日(日)午前11時から午後4時まで、札幌駅前通地下歩行空間(愛称「チ・カ・ホ」)の北3条交差点広場(西)で開催しました。

今年は、「楽しみながら学ぼう！防災のこと。」をメインテーマとし、当日は、小さなお子様から高齢者まで500名以上の幅広い世代の皆様にご来場いただき、参加した12機関※がそれぞれの特色を活かしたステージイベントや展示ブースで防災に関する知識や取組を紹介したほか、各ブースを見学してすべてのスタンプを集めると、防災グッズや長期保存パン等の景品がプレゼントされるスタンプラリーを初めて実施するなど、イベントは大盛況となりました。

ご参加、ご協力いただきました皆様におかれましては、準備から当日の運営、後片付けまで大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。

こうしたイベントを通じて、「道民みんなで取り組む災害に強い北海道」の実現に向けて取り組みを進めていきたいと考えておりますので、引き続き、防災教育の取組へのご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。(開催結果については、後日、ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」に掲載する予定です。)

※国土地理院北海道地方測量部、札幌市、札幌管区気象台、損害保険ジャパン株式会社、DCM株式会社、一般社団法人日本気象予報士会北海道支部、日本赤十字社北海道支部、一般社団法人日本損害保険協会北海道支部、北海道、北海道開発局、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所

- 【開催中】「巨大地震や津波災害から住民を守る」講師養成講座を開催しています！

巨大地震や津波災害から命を守るためには、住民一人ひとりが地震の仕組みや早期避難の重要性など、正しい知識を身につけ、いざという時に迅速かつ的確な避難や状況に応じた適切な行動をとっていただくことが何よりも重要です。

このため、道では、自治体職員や地域の防災リーダー等の皆様に、住民に広く普及・啓発する講師となっただけのよう、身に付けていただきたい知識や伝達手法を学ぶ『巨大地震や津波災害から住民を守る』講師養成講座を太平洋沿岸の6振興局管内で開催しており、これまで根室(1/16)、釧路(1/17)、渡島(1/24)及び胆振(1/25)で開催し、残すは日高(2/8)及び十勝(2/9)となりました。

道としては、道民の皆様に、日頃から「自分の命は自分で守る」という「自助」、そして「地域において互いに助け合う」という「共助」の意識を高め、「いざ」という時の事前の備えや心構えを身に付けていただけるよう、引き続き、防災教育の推進に取り組んでまいります。

※詳しい内容は、道のホームページからご覧ください。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/176524.html>

■ 【1/27開催】地震防災について学べるオンラインシンポジウムのご案内

本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、北海道胆振東部地震以来となる震度7が観測され多くの家屋が倒壊するとともに、日本海地域沿岸の広範囲で津波に関する警報・注意報が発表され、早いところではわずか1分で津波が襲来し浸水被害をもたらしました。

地震発生から3週間以上が経過しましたが、今回の地震では、数多くの人的・物的被害が発生していることが明らかになってきました。

この地震によりお亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

今回の地震では、地震の揺れは観測されなかったものの、北海道沿岸に津波注意報が発表されたところであり、過去を振り返ると2018年北海道胆振東部地震のほか、1993年北海道南西沖地震や2003年十勝沖地震など、沿岸部・内陸部を問わず甚大な被害をもたらした大きな地震や津波による災害が発生しています。

こうしたいつどこで発生するか予測できない巨大地震や津波からご自身や大切なご家族の命を守るためには「事前の備え」が大切です。

一般社団法人日本損害保険協会北海道支部では、1月27日(土)13時30分から「胆振東部地震を振り返る地震防災・減災シンポジウム」をオンラインで開催します。道内の地震リスクを知り、どのように備えるべきか、被災後にどのように生活を立て直すかなどを学んでいただける内容です。

視聴は無料となっており、有事の備えとして役立つ内容ですので、ぜひこの機会にご視聴ください。

※詳しくは別添のチラシや以下URLをご覧ください。

<https://www.sonpo.or.jp/news/branch/hokkaido/2023/g3410i0000000hea->

att/231214_01.pdf

<お問い合わせ先>

一般社団法人日本損害保険協会 北海道支部（担当：長崎、菅原）

TEL：011-231-3815（平日9時～12時、13時～17時）、E-mail：hokkaido@sonpo.or.jp

【シンポジウムの概要】

1 開催日時

令和6年1月27日（土）午後13時00分～午後16時15分まで

2 開催方法

オンライン（Zoom ウェビナー）※参加無料 要申し込み

3 プログラム

13時30分 開会挨拶（主催者）

13時35分～14時05分 講演①「胆振東部地震からの復興プロセス」

定池 祐季 氏（東北学院大学地域総合学部政策デザイン学科准教授）

14時05分～14時35分 講演②「北海道の地震リスクと考えられる被害」

阿南 恒明 氏（札幌管区気象台気象防災部地震情報官）

14時45分～16時15分 パネルディスカッション「私たちの暮らしを守る備えと情報」

コーディネーター：山崎 登 氏（国土館大学教授・元NHK 解説副委員長）

パネリスト①：定池 祐季 氏（東北学院大学地域総合学部政策デザイン学科准教授）

パネリスト②：米津 仁司 氏（国土交通省北海道開発局建設部部長）

パネリスト③：原 祐二 氏（一般社団法人厚真町観光協会事務局長）

パネリスト④：岡本 正 氏（銀座パートナーズ法律事務所 弁護士・博士（法学）・気象予報士・北海道大学公共政策学研究センター上席研究員）

パネリスト⑤：大知 久一（一般社団法人日本損害保険協会専務理事）

4 申込方法

下記 URL から視聴申込フォームにアクセスいただき、必要事項を入力願います。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_8cXcZQngSzzqqsGH4S_DReA#/registration

※申込締切は、27日正午まで

申込された方には、Zoom から招待メールが届き、セミナー視聴に必要な URL 等が記載されているので、当日まで保管願います。

■ 【2/3開催】アルピニスト野口健「災害を生き抜くために」防災講演のご案内

来る2月3日（土）、アルピニスト野口健氏による「災害を生き抜くために」防災講演が、北海道三菱自動車販売株式会社西店で開催されます。

アルピニスト野口健氏は、三菱自動車アンバサダーを務めており、本イベントでは、「災害を生き抜くために」と題して、被災地支援活動から得た防災・減災知識、停電時における電気自動車の給電機能活用法などについてトークが行われます。

また、会場内に設置された避難所としてのテント村をイメージしたディスプレイなどを見ながら、「いつ起こるかわからない災害への備え」について一緒に考える内容となっていますので、お近く

にお住まいの方は、ぜひお気軽にご参加ください。

会場の北海道自動車三菱販売・西店では、「電動 DRIVE STATION」として、太陽光発電システムとV2H機器を備え、太陽光発電による電動車両への充電と電動車両から店舗への電力供給を可能としています。

※V2Hとは？

EV（電気自動車）やPHEV（プラグインハイブリッド車）の大容量バッテリーを家庭用電源として活用するシステムのこと。

また、西店では、平時からエネルギーや環境をテーマとしたワークショップや防災イベントの開催、防災に関する取り組みなどの地域情報を自治体と連携して発信する活動等を通じ、地域社会への貢献を目的として、様々な取組が実施されておりますので、日頃から西店から発信される情報にも注目してみてください。

▼北海道三菱自動車販売株式会社西店のホームページ

<https://www.hokkaido-mitsubishi.com/shop/31-nishi/>

1 日時

令和6年2月3日（土）13:00～

2 場所

北海道三菱自動車販売株式会社 西店
札幌市西区西町宮の沢2条4丁目1-20

3 イベント内容

アルピニスト 野口健さんによるトークイベント
電動車両活用法の紹介やアウトドアグッズを活用した避難所のイメージ展示など

5 参加申込

北海道三菱自動車販売株式会社ホームページ

(<https://hmitsubishi.hp.peraichi.com/ken-noguchi2024>) または、添付の資料に掲載されたQRコードから申込フォームにアクセスして必要事項を記入してください。

定員に達した際は、申込は締め切られます。

■ 【お知らせ】「ほっかいどうの防災教育協働ネットワークマガジン」は3月号で廃刊します。

北海道庁のメールマガジン配信システムが令和6年3月末をもって廃止されることに伴い、本メールマガジンにおいても4月以降当該システムを用いた配信が叶わなくなりました。これを受けて、本メールマガジンで、アンケート調査を実施し、読者の皆様から多様なご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

今後は、アンケート結果を踏まえた上で、当課で運営する、ほっかいどうの防災教育ポータル(<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/>)のほか、FacebookやX(旧Twitter)等のツール活用した、より効果的で有益な情報発信のあり方について検討を行い、検討結果については、読者の皆様

に共有させていただく予定です。

■ 各種メディア・SNS を用いた情報発信について

危機対策課では、各種メディア・SNS にて、防災に関する情報を発信していますので、ご覧ください。
ぜひフォローやチャンネル登録、いいね！をお願いします！

危機対策課のホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/saigai-bousai.html>

- ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>

- YouTube「北海道総務部危機対策局危機対策課チャンネル」

<http://www.youtube.com/channel/UCH8en7nPSfnsNJ1FyOK0lqg>

- フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

- Twitter「北海道防災情報」

http://mobile.twitter.com/hokkaido_bosai2

=====

発行：ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局

(北海道総務部危機対策局危機対策課)

- ・最新情報発信中！フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

- ・ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>

=====